

FirstGlobal メッセージ

# siesta

2014.1月号 vol.128

\*シエスタとは、スペイン語で『昼寝』の意味です。  
リラックスしながらお読み下さい。

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email [shinagawa@1gc.jp](mailto:shinagawa@1gc.jp)

URL <http://www.1gc.jp>

## 今月のトピックス

### トップスピード

もう昨年のお話になってしまいましたが、2013年の漢字は「輪」と、京都清水寺の森貴主より発表されました。2020年の東京五輪招致成功などの影響もあったと思います。先月号にも書きましたが、招致を成功させた立役者のひとりである猪瀬東京都知事の辞任は残念でしたね。やはり耳に大汗をかいで答弁しているようでは、なかなか信用してもらえないでしょう。

五輪といえば、先日短距離走の世界記録保持者であるジャマイカのウサイン・ボルト選手と昨年高校生で日本歴代二位の記録を出した桐生祥秀選手の対談をテレビで観ました。桐生選手がボルト選手にアドバイスを求めて返ってきた答えが秀逸でした。「一番大切なことは、一定したフォームで最後まで走り抜くこと、トップスピードに乗ったら、一定の歩幅とフォームをゴールまで保つことだ。」と。大概の人がトップスピードを上げようとしてフォームを崩し、タイムが伸びない。当たり前のことのようにですが、なんだか新鮮で、目から鱗、の感がありました。「早く早く」と気持ちだけが先行し、体がついてこない。やはり「心技体」のバランスが大事なのだと自分なりに解釈しました。フォームを一定に保てるよう冷静でいられる精神状態も必要でしょう。

ただガムシャラに後先考えずに取り組む時期も必要かもしれません。暮れに観た「全日本フィギュア選手権」でソチ五輪の出場権をかけて必死に演技に挑む選手たち。五輪前の最後の大きな大会で本来の力を発揮できずに終わった男子の高橋選手、女子の浅田選手。実力や世界で戦える要素はそれぞれ一番であることは誰もが認めるところ。ケガなどの要因があったのかもしれませんが、心技体全てがベストの状態で臨めないところに、人間味を感じます。いろいろなものを犠牲にして今までに人生の大半の時間を練習に費やしてきたことでしょう。なんとか代表に滑り込んだのですから、一番いい色のメダルを獲ってほしいものです。羽生くんや鈴木さんももちろんですが。

< next >

あけましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願ひ申し上げます。